

祝

記念行事

第1日	蘇杭祝旗花	雲賀賀行	祭式会列会
第2日	体素自	火育人極	会ど会日
		展示会	は 迎

町長宮里軍吉


町制施行当時、代理助役として  
職務の中に實に殖産興業の道を識  
する時であると信じ、記念の年を  
即ち、殖産興業たる農務部門に

伴い、幾多苦難の歩みを辿つた町政の歴史を回顧致すとき、誠に感慨無量のものがあります。

年革る毎に、我  
共は決意を新にし  
て、郷村の岩かに  
繁榮せんことを希  
い、最善を尽して  
祖宗の偉業を繼承  
し、その靈に酬え  
んと誓つたのであ  
りますが、記念の  
年に当つて、更に  
先人の遺蹟を追想  
しつゝ、今後の精進  
努力を期したいと  
考ふる次第であり  
ます。

町制実施十周年  
は、大東亞戰たけ  
なわの昭和十八年  
でありましたが、  
当時は全てが戦争  
遂行の目的に指向せられ、諸物資  
も統制下におかれ、国家の至上命  
令の傳達機關としての役割しか果  
すてありません。

輜輳として一大農産を遂げなけれ  
ばならんと強く心に決している次  
の於きましては、耕種技術の改善  
による増収も自から限度があり、  
と相俟つて根本的な立地条件の  
改善、すなわち河上丘陵より

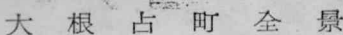


昭和二十二年、新憲法発布、地方自治法の施行せらるゝに及び漸く本來の姿に還り、こゝに町村自治制度が確立されました。この間にあつて、幾多の困難、歩を囲めなければならんと思へま

本町は大隅南部要地の地として、極めて位置を占めてゐることは、我共に許す所でありまして、交通網の整備と共に線形的な見地から町民経済の充実を図り益々その地位を固めなければならんと思へま

本町は、灌漑排水施設の全般的改良を推進して主要食糧の自給を確保し併せて特産農産物の振興を図らねばならんと思つております

この意味で池田地区に於ける



二十周年に當りて

元町長  
縣議會議員  
浜崎隼人

昭和八年本町々制実施以來茲に二十周年を迎へ誠に御同慶にたえぬ次第であります。顧みれば此間日支事変を経て大東亞戦争となり、而して敗戦と云ふ未曾有の憂目を見るに至り、あらゆる物質、食糧等の大欠乏、思想の混亂を來すな

役新設は元より高等学校も設置されこれが縣立移管を目指しての努力も活発に払われて居ます。尚簡易裁判所、警察署、保健支所、煙草收納所を始め各種官公署、個人商店等々に新設新築され、南隅と存する次第であります。

ありまして、今後共縣当局や縣会等の援助を仰ぎ隣接町村との提携を圖りつゝ町当局を中心し町勢発展の一に努力を傾注しなければならぬと存する次第であります。

飛躍の年たらしめん

議長 本 釜 清

本年は、我が大根占町が町制を實施して滿二十周年に當ります。私共はこの二十年間の町政の發展をみると、先覺篤政者の勞苦と町民各位の御協力に對し心から感謝と敬意を表するものであります。顧みるに二十年間は實に多難な道程でありました。戰爭に続く戰爭のために軍閥政治は続き、町村は國の出入機關の存在にしか認められず、町の自主的活動は殆んど封ざられ又一面虚名僭用等による人的物貲不足は町の事業を阻害し、円滑なる執行を妨げたのであります。

足は人生最愚の條件のもとに我々は大試練の機会を与えたのでありますが、町民各位はゆるる苦難により耐えよく忍び全力を尽し今日の第一応安定せる姿を見るに至つたのであります。

終戦後民主政治の名のもとに諸規の改正がなされたが、教育制の改正に基く六・三・三制教育の實施となり、警察法の改正により自治警察の殆どとなり青年學校代る高等學校の誕生又は町村制代る地方自治法の發布による地方自治の確立等目まぐるしい変遷

之等の惡條件を克服し湛海の修築の青年學校その他小學校の改修等の外年々覺來する災害の復興等充分なる対策が講ぜられていたことは先人の遺徳の賜物であり、町民又協力を惜しまなかつた結果であります。

終戦當時の混亂は民心の安定な

なされたのであります。この問題についての態勢は我がとしては着々として機を見て進めたのであります。

今や我が国も諒和独立なり諸の行過ぎる正の処置をとるべき要のものも生じつゝあるが、

は常に世論を把握し社會の輿

## 町制実施

二十周年を祝して

元町長  
森林組合長  
山元徳夫

おおしく残す太言あし跡  
うみわたるみ空に高く舞ひ上る

田鶴の姿に似たり我が里  
更に又浮雲の日またん邑人が  
心あわせて共にいそしめ

二十周年を迎えて

大農協長 落司吉彦

町制実施二十周年を迎えるに当り  
月日に閉守なしと云ふ一言を思出  
します。

町政実施の其頃は私も人生の最も  
華やかな働きの盛りの世であつて、当  
時より漁業人として今日迄働かし  
て戦ひて居りますが、昔から十年  
一昔と言はれた廿年の歳月は流れ  
て既に二昔と去つてゐるのに、私  
共は此の間を働きたんな事をや  
つて來たか、産業開発と云ふ言葉  
は如何に叫ばれ、論ぜられて來た  
かを思つて、願ひて眞に感慨無量  
であります。

言ひ替へて置かれつゝある事は  
喜びにたえません。今漸く開港の  
途上にあるとは言ひ乍ら産業開発  
はまだ一層進しの感があります  
本町は大隈の南端に位し陸の孤島  
に等しい單なる農漁村に過ぎない  
のであります。然るに農村經濟機  
関としての農業協同組合の歩みも  
過去に於ては余りにも歎しい状態  
であつたに迂余曲折も多かつたの  
でありますが、今漸く再建整備組  
合として脱皮の境に達する途上に  
あり、農村に於て協力の發展なく  
して産業開発は明せられないと思  
はれます。

我  
國の  
米人は歓迎され、西独逸辺りでは  
特に、良質である本縣産米を所望  
してゐると聽きます。本町の葉た  
ばこは其の葉型に於て、又色沢鮮  
明なる点に於て、又香嗅味や葉肉  
の充実せる點に於て、縣下優良葉  
産地に於て優はれ、從つて品評會  
共進會等に優秀な成績を収めてい  
ますが、外國向として毎年收納  
の時に收納所に於て早くもその選  
入るのが多量にあるのでありま  
す。

吾が町のたばこ作

組合長 遊喜半次郎

町と  
郊等  
めら  
制度  
必き  
我々  
勝を  
とで  
勝を  
とで

農業経営の多角化、換金作物の  
導入、と云う声が高くなっている  
ことは、農民生活の実態を知る人  
の誰しもウナづけることでありま  
しょう。農民の生活を、より豊に  
より文化的になすには何と言つて  
もお金を農民の懐に握らしむるこ  
とであります。この意味に於て前  
述の声が強く叫ばれるのでありま  
す。

多角形農業換金作物の導入と言  
つても、其の土地の氣候風土即ち  
地理的条件を十分考慮に入れたて適  
地適作の奨励、と言ふことが何よ  
り肝要であります。私は我田引水  
ではありませんが、たばこ作こそ  
の御支援御鞭撻を賜らんことを  
のであります。

こゝに町制二十周年を迎える  
当り、齋藤進努力たばこ作の振  
を期し、町当局の御好意に報い  
町民各位の御期待に副いたじと  
意する次第であります。更に二  
の御支援御鞭撻を賜らんことを



——終了して次の行事に移る予定ります。

四、防犯衛生展示会  
警察署、保健所の協力を得ま  
して、防犯に關する資料や衛  
生思想の普及に關する資料を  
ます。



港

占根大進

展示致します。  
新聞展示会、その他  
新聞が出来るまでの行程や、  
全国各種の新聞を展示致しま  
す。又生花や盆栽及び各種美  
術品等も展示して観望ます。


会によりまして大いに得るところがあると存じます。何卒期をもつて御観覽の程御願ひ致します。

他

の祝賀を將來に記念するため

が、各家庭に記念品を送ります  
小学校、中学校の生徒に子供  
この日を記念して、将来本町  
民のために大いに役立つよう  
勉強していただくため、鉛筆  
贈ることに致しました。子供

以上が町主催の祝賀会の大略  
あります。第二日、運動



正一 照淵鑑記  
 尊資能 中松庄太郎  
 垣内秀雄 御川勝天  
 越再次 菅原松文  
 之内誠吉 新原吉吉  
 國榮

十 清 助

啓 森

所 釜 原

稅 本 訪

代 代 代

初 二 三

昭和21年 - 昭和22年

夕 22 - 夕 26

夕 26 - 現在

明治23年 - 明治30年

大正12 - 昭和5

昭和5 - 昭和10

昭和10 - 昭和18

昭和18 - 昭和20

昭和20 - 昭和21





# 町政二十年を振り返る

議会事務局長 矢野 清

町制を施行して既に二十年が経過した。この二十年間、町政の発展は著しいものがある。町民の生活向上、経済の発展、教育の充実、文化の振興、これらすべてが町政の重要な課題であり、これらを達成するために、町民の協力と努力が不可欠であった。

昭和八年八月一日の町制施行の日から、今日まで、町政は着実に歩を進めてきた。この二十年間、町民の生活は大きく向上し、経済は大きく発展し、教育は大きく充実し、文化は大きく振興された。これは、町民の協力と努力の賜である。

町政の発展は、町民の生活向上、経済の発展、教育の充実、文化の振興、これらすべてが町政の重要な課題であり、これらを達成するために、町民の協力と努力が不可欠であった。

昭和八年八月一日の町制施行の日から、今日まで、町政は着実に歩を進めてきた。この二十年間、町民の生活は大きく向上し、経済は大きく発展し、教育は大きく充実し、文化は大きく振興された。これは、町民の協力と努力の賜である。



町役場

町政の発展は、町民の生活向上、経済の発展、教育の充実、文化の振興、これらすべてが町政の重要な課題であり、これらを達成するために、町民の協力と努力が不可欠であった。

昭和八年八月一日の町制施行の日から、今日まで、町政は着実に歩を進めてきた。この二十年間、町民の生活は大きく向上し、経済は大きく発展し、教育は大きく充実し、文化は大きく振興された。これは、町民の協力と努力の賜である。

町政の発展は、町民の生活向上、経済の発展、教育の充実、文化の振興、これらすべてが町政の重要な課題であり、これらを達成するために、町民の協力と努力が不可欠であった。

昭和八年八月一日の町制施行の日から、今日まで、町政は着実に歩を進めてきた。この二十年間、町民の生活は大きく向上し、経済は大きく発展し、教育は大きく充実し、文化は大きく振興された。これは、町民の協力と努力の賜である。

町政の発展は、町民の生活向上、経済の発展、教育の充実、文化の振興、これらすべてが町政の重要な課題であり、これらを達成するために、町民の協力と努力が不可欠であった。

昭和八年八月一日の町制施行の日から、今日まで、町政は着実に歩を進めてきた。この二十年間、町民の生活は大きく向上し、経済は大きく発展し、教育は大きく充実し、文化は大きく振興された。これは、町民の協力と努力の賜である。

町政の発展は、町民の生活向上、経済の発展、教育の充実、文化の振興、これらすべてが町政の重要な課題であり、これらを達成するために、町民の協力と努力が不可欠であった。

昭和八年八月一日の町制施行の日から、今日まで、町政は着実に歩を進めてきた。この二十年間、町民の生活は大きく向上し、経済は大きく発展し、教育は大きく充実し、文化は大きく振興された。これは、町民の協力と努力の賜である。



# 大根占町の展望

町制実施の年、即ち昭和八年は、  
満州事変が勃発して二年目の年で、  
あり、五、一五事件が発生し、国  
家主義、全体主義が漸時芽ばえん  
が、  
助策の、方式を採つたのでありま  
すが、結局補助のみでは不足し、  
町村はその補填策として、借り入  
れ金をするの已むなきに到つたの  
で、  
等ば至て町村の負担のもとに行わ  
れましたので、本町の財政もこの  
頃から窮乏の状況を呈し初めてい

助策の、方式を探したのであります。が、結局補助のみでは不足し、町村はその補填策として、借り入れ金をするの已むなきに到つたのが行われたのであります。が、これ等は至て町村の負担のもとに行われましたので、本町の財政もこの頃から窮迫の状況を呈し始めてい

村財政は、益々困窮にたゞつて行かねばならぬ様になつたのであります。

昭和十二年七月、日支事變が勃発するに及び、当時増進しつつあつた地方財政の、緊縮政策を行つたのであります。が、軍需關係、軍用道路費、勞務需給費、資價調、整備等々戰時體制關係費が増加し、然もこれらの多くは、町村費にその負担を強加された結果、町村財政は逆に増高し、本町の予算も、昭和八年當時の三倍に膨張して居ります。

當局が漸次拡大するに伴ひ、國費の出費が激増したため、町村の主要なる稅收入であつた所得稅、附加稅が廢止され、地租、家賃、營業稅の附加稅が新たに考へられ、又補給金制度が配付稅として与へられるようになりました。然しこれらの多くは國稅又は縣稅が優先するため、徴收の面において種々障害を生じ、もと／＼乏しかつた稅源も全く自主性を失つてしまつたのであります。

昭和二十年八月、誰れしもが予想だにしまかつた敗戰が、現實に我々の頭上に打ち込まれ、我國の體制度に對し、根本的な檢討が加へられ、明治憲法は所謂民主主義、平和の憲法に置換へられたのであります。多分に中央集權的であつた明治憲法においては、府縣市町村が存立してゐるにも拘らず、何等保障の規定は設けられてゐなかつたのであります。が、新憲法には四ヶ條に亘り、地方自治制とする基本的大綱が示唆されてゐり、こ

立税として徴收されるようになります。

昭和二十五年にはかねて我國の財政制度を調査中でありましたシヤウプ博士の、税制改革の勧告に基き、地方税法は根本的に改正され、従来の府縣税に從屬する附加税制度から離れて、府縣と市町村を全く区分した自主獨立の税法が公布され今日に至つて居ります。

一方町税と共に地方財政の重要な役割をなしてゐる地方配付税もシヤウプ博士の勧告に基き、地方公共團體の財政力の増進を調整するために、根本的檢討が加えられ地方財政平衡交付金の制定を見るに至つたのであります。

斯くの如くして地方自治の確立に伴ひまして、地方財政も型の上では、自主獨立の財政が確立した様であります。が、學制改革による中学校建策、自治体警察の維持、地方教育委員会を始め、諸委員会制度の発足は、いく地方財政を圧迫し、又莫大な委任事務を含む事務量の増加、或は本縣名物の台風による災害復旧工事等々益々財政需要は膨張してゐります。終戦後再開された大根谷港の修繕工事も、既に完工目前に漕ぎつけ、ルース台風による神之浜海堤防の災害復旧工事も、完成に近づきつゝあります。而しながら、無窮した道路の改修、新築、老朽校舎の改築、不足校舎の新築、その他商業振興五ヶ年計畫の進展と相俟つて、幾多の事業が山積してあります。これは町民の意思と、福祉を計ひ、且つ町民の負担の軽減に關する

んとする農民の最も重要な努力と當局の適切な奨励により漸次回復致して参りました。然るに昭和十三年十月には光ヶ石や三川川一帯に亘り山津波を伴う大水害を蒙り農民は其の復旧に致すを乞ふとして來たのでありますが社會情勢は次第に悪化し遂に軍事に突入するに及び農家人口は減少し然も政府の農業政策は一変し農業作初より主畜生産に全力を注ぐ事となり永年作等に対する補助政策は減退し先づ主畜生産に主力が置かざるを得たのであります而して本年の米かん選果場も次期に灯が明あつたありましたが昭和十七年には食糧管理法が公布され國民食糧の調製と管理民経済の安定を図る爲めに食糧を管理しその需給及價格の調製並に配給の統制を行う事が目的とされ全國民に一大激震を与へき一一定量の枠内で生活をなし生活費でも一定量の枠外は種子費としが認められず残りは全部供出することになつて來たのであります。

申上げるまでもなく本市の主畜生産量は全町産を遙かにわづかに八月か九月月しかなく不足は町外にこれを頼りますがその年関係有者との供出も頗るうように振舞う殊に昭和二十年戦に敗れ朝鮮、台灣、滿洲等の版圖を失つて以來食糧事情は更に窮乏をうけ政府は主要食糧を生産増強に大量となつたのであります町もこれに呼応して食糧増進に努力したのでありますが初期の欠乏その他の事由により初期の目的を達成することほ出来なかつたのであります。食糧供出は占領軍の至上命令とされ最も重要な主力がそれしたので専らこの点に力を入れざるを得な爲に多くの犠牲者は犠牲をなげき至つた。

年檢半済又諸改林山坂か坂照の和占占由そてて食糧増進とすは政府の意に

を前として行わなければならぬのは当然でありまして、自主独立の財政とは言へ、本町の如き貧困な町村においては、尙その大半を国に依存しなければならぬ状況でありますが、この記念すべき日を迎え、過去を反省し、益々研鑽を重ね、町財政確立のため、基本財産の造成に努めねばなりません。

重大問題であり昭和二十六年と一時計画された白井方問題も昭和二十六年より研究し池田地区の畑地すべく運動を展開しようとしたのであります

一、道路問題

凡そ経済文化の向上は陸海交通の整備が必然的条件であることは否を俟たないところでありまして、當市のこの交通機関の整備は更に道路網の整備改良が根幹であることは、申すまでもありません。

本市の道路は、戦争中、あらゆる努力が戦争に集中された結果修繕はなつか、その維持さえも充分でないもの、全く荒廢していたのであります。

かかる道路の状況にては戦後、急遽に發展せる産業の機械化に対応することは、不可能にして既に路上におけるあらゆる運搬が極めて困難となり、トラック運搬が切實要求されつつあり、このまゝでは交通の便が著しく阻害されること、おぼつかないと考えられたのであります。

そこで本市としては、大根占港を中心とする循環自動車運路（大根占港・池田・宿和原・神川・大根占港）の改修計画が立案され、昭和二十二年には、先づ神川運路調査を実施する計画がなされたのであります。

昭和二十三年度はは平谷石原の段々、大根占間を、神川運路の開設から、瀬戸山から、山崎を経て、段々に通する様に、この間の瀬戸山に橋を有効に利用して、これを、循環路の了解を得て、其途として修する計画が立案されましたが、種々の事情で九分通りで、完成されてゐるのであります。

中央線の開通に伴い、本市の陸海交通に及ぼす重大なる影響に鑑み、石原及久保間の架橋が真例に附され、平谷石原の改修は三ヶ計画の下に、昭和二十六年度に、一、二、三、四年を投じ、本

昭和十六年十月には、ルース台風により、神の浜海岸一帯が大被害を蒙り、建設者の認可を得て神の浜海岸地帯一帯に護岸の復旧を實施する事になり、昭和十七年度に於て、墨居川より、掌之元までの海岸線の復旧を完了して居ります。

一方護岸の状況をみましても、これ又神の浜海岸と称される墨居路に於て、最も維持が完全でなく垂水、大谷占嶽については、大隅開きの海が狭くとりあげられ、一億二千万円の予算でもつて、坂元大塚に五千万円の増返資金で、坂元水島間に改修され、昭和二十五年から見返資金がなくなつたので、昭和二十七年には、皆吉改修を行つたが、昭和二十八年度には、皆吉から鳥浜間の改修が完了する事になつて居ります。

又山田郡の資源開発から、中央線（山田線、高山線）の問題がとりわけ、昭和二十三年から、田代、赤間が改修され、本年度は、墨居の運びになつて居ります。

又千ヶ石線も、池田、根占線として、福道に融入されたのであります。

尾島線も、神川、高山線として昭和十七年度、昭和十八年に竣工され、昭和十九年度として、墨居と定まれ、修築中でありまして、大東亜戦争のため中止のやむを得ないところのであります。

到了最早このまゝ、維持することは本町發展上、許すべくない状況であり、一日も早く、これが完成に努力すべきであることが、痛感され、昭和二十二年八月、これが

道垂水、大根と  
復旧工事が完了  
交通において  
され、当地の  
するものと期

の築港、修築の問題に早くから眼ざされた先輩の網眼に私達は又對の念を禁じ得せん。

その他交通諸問題

後の本地方の交通事情は全く、俣狀體にして、海上交通は九州船による一日一回の運行であり、土は三州自動車社により、一二回乃至三四程度の運行がなされてゐる。この運行が、四ヶ町の首脳部が相集りて之に省管自動車運行の問題がとりあげられ、保方面に陳情され、バスの運行、一日六回の運行となり海上交もその後、九州船舶会社に、交の結果、鹿児島行、一日四往復宿方面、一日三往復の運行と相なり、今日に至つて歸ります。

通運水、大根占嶽の改修等に災復旧工事が完了して、雖には、交通において、交通時間短縮が望まれ、当地の對外交通事情は好するものと期待されて歸ります。

教育

ある町制施行二〇周年記念を前に、教育の面に於いても、時を置き、其の間に於いての希望を述べたところであらうとの希望を、行政と比喩して著し、進歩の道を歩み出さざるや否や、その間に教育を受けた人間にはやがて、つかしく我々の時代はあつた、あゝだつたと良い点が、思ひ出されるのは自然であるがとにかく二〇年前の可教育職員にも縣下の優秀な人材が、て学校内部の活動は、外部は縣下にその活動を展開したものであつたといふことが出来る。其の主な要素の創立と共に学制改革を経て新制中學校の発足であるが校舎の整備内閣、こつてはいまだまづと

を要するに受けられる。  
対しては教育にたづな  
特に思ひを致し兒童  
底に培ひ人間性の革新  
て町教育進展の爲に口  
考えている。こゝに四  
を迎えるに当り思ふ所  
町教育の飛躍的發展を  
意図せず大膽である。

民性を考へてみる時、官位に恵まれた環境に育つたせいか特に忍耐力に乏しきばかり強さが足りない点が現れ、更に進取の気象に乏しく社交習慣にも欠ける点があるやに見受けられる。これらの点对しては教育にあづさる我々特に思ひを致し児童生徒の魂の中に培い人間性の革新を図りても町教育進展の爲に尽力したいと考えている。こゝに町制二〇周年を迎えるに当り思を新にして更町教育の飛躍的發展を期したいと固く決す大膽である。

### 編集後記

十周年記念特集号として発刊致した。  
現代補助役としてその最高責任に附かれた、現宮里町長の心算に感慨無量のものがあると存す。

副美施後町長は、適任された。山元徳夫、浜崎卓人、助の田中猶矢、山元徳夫、吉永勝、原口吉藏、收入役の坂宮下伸、吉永勝剛、矢野清の諸先輩に対し、深く感謝致します。

次に、山元、浜崎の御二人からも寄稿を得ました。

副美実施当時、本町の中等青年で、本釜氏も二十年の今日還就任されて居ります。

其の現在の青年作は、昭和八年その盛が輝かれたのでありますが、これについて組合長より御挨拶を得ました。

年間の本町の歩みも矢野氏願ひ致しました。

をあちこち探し苦心された本将來、郷土新聞へのよき影響となり、その旨に對し